



りんご生産情報 4月外勤号



令和7年4月17日

中央地区営農係

今年は観測史上最高を記録しました積雪も、4月上旬以降気温が高めに推移したことから、主力品種「ふじ」では平年に比べ2日程度早く展葉日を迎えました。

まもなく「展葉1週間後頃」の散布時期ですが、落花20日後頃までは黒星病の「重点防除時期」となります。また、褐斑病の子のう胞子が5月上旬頃から降雨をきっかけに飛散し始めますが、どちらも散布量、降雨前散布、散布間隔を守り感染を防ぎましょう。

1. りんごの生態 → 平年に比べ2日程度早めに推移しています！

品種 管内	発芽日			展葉日			開花日			備考
	和徳	藤崎	平年	和徳	藤崎	平年	和徳	藤崎	平年	
つがる	4/5	4/7	4/9	4/15	4/16	4/17	(5/4)	(5/6)	5/8	和徳管内：津賀野地区 藤崎管内：五林地区 を観測しています。
ジョナ	4/1	4/5	4/6	4/10	4/12	4/14	(5/2)	(5/4)	5/6	
王林	4/2	4/5	4/6	4/11	4/13	4/14	(5/2)	(5/4)	5/5	
ふじ	4/6	4/7	4/9	4/15	4/15	4/17	(5/6)	(5/6)	5/8	平年値は当組合生観圃平均

2. 薬剤散布 → 10日間隔を基本とし、降雨前散布を意識しよう！

散布量	散布時期	対象病虫害	基準薬剤及び調合順序	1,000 ㎡ 当りの薬量
1 展葉1週間後 300L/10a	4/23頃	モニリア病・腐らん病 黒星病 リンゴハダニ・ハマキムシ類 キンモンホリガ・ギンモンハモグリガ	精製マシン油(97) 200倍 アブロード(F) 1,000倍 ベフラン(液) 1,000倍	5ℓ 2本(1ℓ) 2本(1ℓ)
2 開花直前 320L/10a	5/3頃	モニリア病・黒星病 ハマキムシ類	カナメ(F) 4,000倍 バイオマックスDF 2,000倍	1本(250Mℓ) 1袋(500g)
3 落花直後 350L/10a	5/13頃	黒星病・斑点落葉病 ミダレカクモンハマキ リンゴコカクモンハマキ	ミギワ(F) 4,000倍 ジマンダイセン(水) 600倍 バイオマックスDF 2,000倍	2本(250Mℓ) 1袋(1.67kg) 1袋(500g)
コンフューザーRの設置				100本/10a
4 落花10日後 420L/10a	5/23頃	黒星病・斑点落葉病 ミダレカクモンハマキ リンゴコカクモンハマキ	ユニックス(顆水) 2,000倍 ジマンダイセン(水) 600倍 クレフノン(水) 100倍	1袋(500g) 1袋(1.67kg) 1袋(10kg)

3. マメコバチ巣箱の設置

近年、マメコバチの数が少なくなっています。活動しやすい環境を整えるため、以下のことに注意しましょう。

鳥害を防ぐため出入りする側に防鳥網を張り、網の内側に穴を掘りマメコバチの土取り場とする。

マメコバチの飛ぶ範囲は半径30～40mと限られていることから、巣箱は1カ所に置かず数カ所に分けて設置する。

薬剤散布の際は、農薬が筒に直接かからないように一時的に巣箱を被覆する。

4. 霜害対策 → 防霜資材の準備をしておきましょう！

晴天無風で前日の午後7時の最低気温が6度以下だと、霜の降りる可能性が高まります。生態が早い年ほど凍霜害に遭いやすくなるため、事前に防霜資材を準備しておきましょう。防霜ファンを設置している園地では、始動温度を2に設定しておきましょう。

～マメコバチ出庫のお知らせ～

日時: 令和7年4月25日(金)・28日(月)

時間: 9時～11時30分

場所: 和徳りんごセンター

詳細は個別に配布した案内文書に記載しておりますので、そちらを確認下さるようお願いいたします。

生育ステージ	発芽直前	発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花始	満開期	落花期
安全限界温度	-3.5	-2.2	-2.2	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7